



特集

平成30年度 肉畜生産・販売事業 推進対策について

肉畜事業を取り巻く環境は、生産者の高齢化や就労人口の減少により、生産基盤拡大に伴う人員確保が今まで以上に困難になるとともに、今後は資金力のある企業畜産の大規模化が更に進むと考えられます。また、肉用牛の肥育事業においては、子牛並びに搾乳用初妊牛等の市場価格が弱含みに転じているものの、依然高値が継続していることから、再生産に対し大きな支障をきたすと考えられます。

このような状況を踏まえ、JAグループの基本に立ち返り、今年度も引き続き生産性向上対策と系統機能(和牛改良センター等)を活かした県内一貫生産体系モデルの推進を軸にした生産体制を基礎とし、ブランド力向上と販売対策に取り組むことで、農家手取り最大化に取り組んでまいります。

畜産酪農部



「ソバナ」

(キキョウ科)

季節のエッセー
いわての
野草

文・澤口 たまみ
絵・永澤 美貴子

名前の最後に「ナ」(＝菜)という言葉のつく植物は、食べられることが多い。これもその一つ。
山菜採りをする人たちは、ツリガネニンジンとそう区別をすることなく、利用しているようだ。
「ソバ」(岨)とは、山地の斜面を意味する言葉だという。この花はなぜか、林道の法面などにへばりつくように、斜めに生えていることが多いのである。
たまに、平らな場所に生えている株を見つけても、何となく居心地が悪そうに、やっぱり斜めに傾いているのだから、持つて生まれた性質とは、どうにも直しようがないものらしい。それにしても秋の野には、どうして紫や黄色の花が多いのだろう。緑の季節が、もう残り少ないことを告げる色彩である。

参考資料：澤口たまみ著「岩手の野草百科」(岩手日報社 平成18年4月20日 第7版発行)より

純情産地発 クララ KLARA vol.831 2018 10

タイトルのKlara(クララ)は、宮沢賢治の手帳に記されている言葉で、エスペラント語で「晴」「暖かい」を意味します。全農の未来がそして世の中の全てが、明るく晴れやかにという願いが込められています。

純情産地いわて
30th
みんなていわての未来を育もう。

contents

季節のエッセー いわての野草	02	みんなの分教場	07
特集 平成30年度 肉畜生産・販売事業推進対策について	03	報告! 出向く活動班	08
純情産地いわて30周年記念企画	06	純情むすめ活動記	09
		純情人	09
		ニュースワイドアングル	10



出生間もない子豚



和牛改良センター繁殖牛

行動計画

行動計画	30年計画	29年実績
1. 和牛繁殖緊急増頭対策事業	150頭	207頭
2. 県内一貫生産体系モデルの推進 (1) 借り腹移植事業での無償移植 (2) 借り腹事業産子の斡旋 (※改良ウチ産子含む肥育素牛斡旋頭数)	400個 150頭 (※300頭)	207頭 65頭 (※195頭)
3. 牛肉輸出事業の推進	40ト	39ト
4. 肉豚産地提携事業の拡充	141,000頭	133,645頭
5. いわて牛五ツ星首都圏取扱店拡	13店舗	12店舗

いわて純情豚主要取扱店一覧

<p>県内</p> <p>2015年食肉産業界 銘柄ポーク好適度コンテスト 優勝受賞 いわて純情豚 愛海 (DCA) 販売先 いわちく直売店 <small>(ジャパロニ、盛岡駅前フェーズ店、バルクアベニューカワトク店、アネックスカワトク店)</small></p> <p>2014年食肉産業界 銘柄ポーク好適度コンテスト 優勝受賞 八幡平ポークあい 販売先 ナックス、キリンヤ</p> <p>2016年食肉産業界 銘柄ポーク好適度コンテスト 特別賞 アイコープ豚 販売先 いわて生協各店</p> <p>亜麻豚 販売先 岩手畜産会登録加盟店</p> <p>南部ロイヤル 販売先 ヘルプラス各店</p> <p>南部福来豚 販売先 マルイチ各店</p> <p>熟成豚 販売先 マイヤ各店</p>	<p>県外</p> <p>茶美豚 販売先 生活協同組合ユニー各店(神奈川県・静岡県・山梨県)</p> <p>東北産美味豚 販売先 いなげや(東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県)</p> <p>八幡平もち豚 販売先 とりせん(群馬県・栃木県・茨城県・埼玉県)</p> <p>南部ピュアポーク 販売先 よこまち(八戸市)</p> <p>岩手純情豚 販売先 オオセキ各店(東京都・神奈川県)</p> <p>「いわて純情豚」は以上主要銘柄の「総称」として県内外への販売に取り組んでおります。</p> <p>問い合わせ先 JA全農いわて 畜産統括課 〒020-8605 岩手県盛岡市大通一丁目2-1 産ビル内 TEL.019-626-8654 https://www.junjo.jp</p>
---	---

(2) いわて純情豚関連
 ア. 各種関連イベントへの積極的参加といわて純情豚の試食提供
 イ. 「肉豚産地提携事業」を通じた販売先との協力による利用拡大への活動

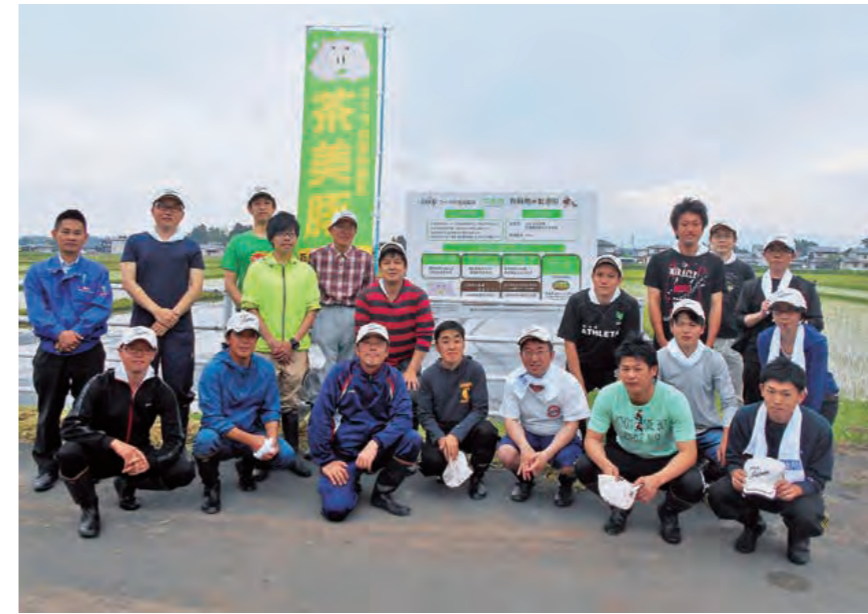
4. おわりに

本県における畜産事業は過去に幾度となく大きな荒波にもまれてきましたが、今なおしっかりと大地に根を張って消費者より高い評価を得ております。先人たちが築きあげた本県の畜産を系統組織一丸となって前進させるとともに、消費者に選ばれ愛される産地を目指して参ります。今後ともご支援賜りますようお願い致します。

いわて牛銘柄

銘柄牛	産地農協(産地市町村)
いわて八幡平牛	JA新いわて(八幡平市)
いわて雫石牛	JA新いわて
岩手しわもちもち牛	JAいわて中央
いわてきたかみ牛	JAいわて花巻
いわて奥州牛	JA岩手ふるさと
いわて前沢牛	JA岩手ふるさと
いわて江刺牛	JA岩手江刺
いわて南牛	JAいわて平泉

いわて牛普及推進協議会HPより



ユニーコープ産地視察研修(H30)

(1) いわて牛関連
 ア. 各種共励会・研究会等の開催(いわて牛普及推進協議会との連携)
 イ. いわて牛無料試食会の開催(平成24年度より、)

3. ブランド認知・利用拡大への取組み

(2) 供給先および全農グループ会社との連携強化による「肉豚産地提携事業」の拡充
 ア. 供給先における岩手フェアならびに消費者との産地交流会等の販売促進対応
 イ. 商品の差別化と有利販売による所得確保。
 (3) 「いわて牛」いわて純情豚の利用促進
 ア. 県内小中学校の学校給食への利用と出前授業等による食育活動の実施
 イ. いわて牛「いわて純情豚」の消費拡大やスポーツ大会への開催協賛等による新たな需要の開拓

盛岡駅前にて8月お盆前の帰省客等にいわて牛の美味しさを紹介する取組みを、岩手県農協肉牛経営者連絡協議会活動として実施。今年度は、「純情産地いわて30周年感謝祭」の中で、いわて牛のお振舞いを実施しました。



岩手県農協肉牛経営者連絡協議会によるいわて牛無料試食会(H29)

1. 生産基盤の維持拡充

(1) 畜産生産基盤対策事業の推進による中核農家育成と増頭支援
 ア. 肥育牛増頭対策ならびに繁殖雌牛導入対策等による肥育経営支援対策
 イ. 高品質豚肉安定生産対策ならびに種雌豚導入支援対策による養豚経営支援対策
 ウ. 和牛繁殖基盤の維持拡大等による肉用素牛の頭数維持
 (2) 和牛改良センター機能を活用した県内一貫生産体系モデルの推進と生産コスト圧縮支援

2. 販売機能強化による有利販売の推進

ア. 和牛改良センター産子ならびに乳牛借り腹受精卵移植事業産子による黒毛和種素牛の供給
 (1) 全農グループ関連会社等の機能を活用した「いわて牛輸出事業」への継続的な取り組み
 ア. 現地(台湾・香港・米国)で開催されるイベントなどへの対応を通じた顧客の開拓
 イ. 国内外の販売チャネルの複数化による有利販売
 (2) 供給先および全農グループ会社との連携強化による「肉豚産地提携事業」の拡充
 ア. 供給先における岩手フェアならびに消費者との産地交流会等の販売促進対応
 イ. 商品の差別化と有利販売による所得確保。
 (3) 「いわて牛」いわて純情豚の利用促進
 ア. 県内小中学校の学校給食への利用と出前授業等による食育活動の実施
 イ. いわて牛「いわて純情豚」の消費拡大やスポーツ大会への開催協賛等による新たな需要の開拓

米穀の保管管理について (フレコン保管のポイント)



米穀部
米穀販売課
菊池 満

表1 (倉庫保管14か月後のフレコン内水分)

サンプル No	9月末検査時 水分(%)	翌年11月末(14か月後)のフレコン内水分(%)		
		中心の上部	中心の中部	中心の下部
1	14.8	14.5	15.9	16.3
2	14.8	14.1	15.9	15.9
3	14.8	14.6	16.3	15.6
4	14.8	14.1	16.3	16.3
平均	14.8	14.3	16.2	16.0

注)資料提供 農業倉庫基金

これは大型袋のため、庫内空気の湿度の影響を受けにくく、低温倉庫に入ってもフレコン中心部まで穀温が下がるまでに時間がかかります。このため、外気温の高い時期(20℃)に低温倉庫に入庫したフレコン保管米は、各個体やはいの中心部の穀温が下がりにくく、短期間に肌ずれ米や胚芽部の変色などが起こりやすい。

台付米、カビ米発生のメカニズム

台付米やカビ米は、冬季の冷え込みが厳しい地域の倉庫などで、収穫期に比較的高温で入庫したフレコン米を、多段積みで越冬した場合に発生しやすい。

- 比較的高温で入庫し、多段積みで保管されたフレコン米は、外気温の低下、庫内温度低下の影響を受けて、はいの外周部、表層部から穀温低下が始まるが、はいの中心部や下段の穀温は、容易に低下せず、しばらくは高温のまま推移する。
- このため、倉庫内では、庫内空気の対流とは、はい内部の空気対流が発生し、穀温低下が比較的早く、はいの外周部の表層部からは、はいの中心部から供給される暖気の水分が蒸発して高水分化する。
- これら吸湿した米の水分が17%程度に達した段階で、下段から供給される熱で、カビの繁殖適温に穀温が維持されている部分では、芽カビ(発芽部)が発生する。



フレコン底部のカビ被害事故
提供:農業倉庫基金

特に、低温倉庫では長期保管されるため、穀温が高いため、推し移して害虫の繁殖が進み、出庫後、着地でクレーム事故になることがあります。

- (注)保管米の水分が15.7%を超えると、胚芽部にカビ、いわゆる芽カビの発生がみられる。また、米の水分が高いと、コナダニが発生し、その糞、ダニ臭がつくことがある。これはフレコン、樹脂袋に多くみられる(全農山形県本部)
- さらに、庫内温度が低下(外気温下降期)することによって、穀温が低下し、カビの発生は停止するが、カビは孢子状態で付着・残留している。そのため、包装外観からはわかりにくいまま出荷されて、精米工場での張り込み時にカビの孢子が煙のように立ち昇る、いわゆる「忍者米」がみられる。
 - なお、この状態のまま保管を継続し、5~6月以降(外気温上昇期)まで経過すると、気温の上昇、庫内温度の上昇にともなう庫内、はい内の空気対流により、これらの孢子が下段に運ばれて、台付米の原因になる。(石渡幸男著「農業倉庫等保管米の品質管理」より)

以上のようにフレコン保管は紙袋詰保管と異なる管理方法が必要となりますので、フレコン保管の特徴を理解し、適正な保管を実施しましょう。

近年、カントリーエレベーター、ライスセンターなどに農業法人等大規模生産者のミニライスセンター等の普及や流通段階における流通の効率化により、フレキシブルコンテナ(以下「フレコン」という)を活用したバラ流通が増加し、農業倉庫においてもフレコン保管が増えています。フレコン保管は、通常1トンの大型袋を使用するため、紙袋詰保管とは異なる品質管理が求められる。また、産地では米の収穫期が早まり、外気が比較的高いなかでの乾燥調製作業が行われるため、高穀温のまま倉庫に入庫されることも多く、保管中の品質劣化が懸念される。このため、以下のとおりフレコン保管のポイントをまとめました。

1. フレコン保管の特徴

フレコンの充填された玄米では、穀温が下がりにくく、水分が中心部に集まるという特徴があります。(表1)

また、産地では米の収穫期が早まり、外気が比較的高いなかでの乾燥調製作業が行われるため、高穀温のまま倉庫に入庫されることも多く、保管中の品質劣化が懸念される。このため、以下のとおりフレコン保管のポイントをまとめました。

2. フレコン保管中の事故のターゲット

ア 台付米、カビ米

冬季の冷え込みが厳しい地域に多く発生し、4~5段の多段積みで秋冬季(12~1月)にカビ米(忍者米)が発生し、また、初夏(6~7月)に台付米が発生しています。(水分は上段で1~1.5%減少、最下段で2~3%増加)

イ 害虫カビ事故

収穫後の生籾を、乾燥調製した後にはクーリングや放冷を十分に行わないまま、すぐに糊摺り作業フレコン充填作業を行うと、充填された玄米は高穀温のまま保管されることとなります。

このような場合には、害虫やカビが発生する危険があります。(写真)

- 高穀温米の早期解消
フレコンに充填する前の穀温を冷却し、玄米水分を15%以下とします。
- やむを得ず外気温が高い時期に糊摺りし低温倉庫に搬入した場合は、庫内で1段の平置きにして穀温を15~16℃以下げてから、はい付けを行うのが理想です。(長期保管する場合は、3~4カ月に1回、はい替えが必要)
- はい崩れ防止
フレコンは大型袋のため、はい崩れを起こすと人身事故につながる危険があります。通常の倉庫では、フォークリフトで吊り上げて積み込む場合は3段積みが限度です。また、4~5段積みの場合、下段のものには台付米や肌ずれ等の危険がありますので、積み段数は極力3段以下にします。

3. 事故を起こさないためのフレコン保管の留意点

ア 充填前に容器の点検・清掃を実施する。
イ 糊摺り時は、害虫の混入に注意する。
ウ 入庫前に穀温・水分など良好な保管条件を整える。

以上のようにフレコン保管は紙袋詰保管と異なる管理方法が必要となりますので、フレコン保管の特徴を理解し、適正な保管を実施しましょう。



料理人を経て、野菜を生産する高橋さん

純情産地いわて30周年記念企画 “純情産地いわて”を 支え・育む力を インタビュー!!

うるおい春夏秋冬

高橋 賢 北上市相去町

今回は、北上市相去町の生産者 高橋賢さんにインタビューしました。うるおい春夏秋冬とは、一年(ひととせ)を柔らかいイメージの言葉に当てたものです。季節感を大切にしたいという思いが込められています。珍しい西洋野菜を多品目にわたって生産する高橋さん。その野菜を求めて、地元シェフが、高橋さんの元へ足を運びます。様々なレストランのシェフとつながりのある高橋さんは、異色の経歴の持ち主でした。



西洋野菜「ロズナポリタン(イタリアンミニトマト)」を収穫する高橋さん

やニンジンの栽培を手伝ってもらっています。彼らは機械の扱いに慣れており、こちらは効率よく機械作業を行ってもらえるし、米農家にとっては冬期に収入を得ることができる、というお互いのメリットになっています。

4 農業の最大の価値は、「安定供給」

農業の最大の価値は、「安定供給」であると考えています。品質が良い農産物が注目を集めますが、どんなに品質が良いとしても、物量が潤沢になれば、話になりません。いつでも物量が確保され、いつでも消費地の需要に応じることができれば、「産地ブランド」とは言えないのではないのでしょうか。一定の期間、一定の量、一定の品質をどれだけ供給し続けることができるのか、ということが「産地ブランド」なのではないでしょうか。潤沢にものがあつて初めて品質が問われます。

3 シェフとのコミュニケーションを大切に

すし職人として働いていた10年間、カウンター越しにお客様の喜ぶ顔を見てきました。どこでどのような人が食べているのか見たい、知りたい。という気持ちがあるため、産直やスーパー等に出荷するだけではなく、飲食店へ直接野菜を提供しています。



「うるおい春夏秋冬」のロゴマーク
このマークが高橋さんが作る野菜の印です。
デザイナーへ作成を依頼したこだわりのマーク

岩手県は、厳しい自然環境の中、安定供給に向けてどのように取り組むべきかについて考えていく必要があると思います。

5 北上市の食文化を豊かにしたい

収穫した野菜を「産直あぜみち」に出荷しています。「この産直には、他産直には置いていない珍しい野菜がある。」と聞きつけ、北上市だけではなく花巻市のシェフもやってきます。そこで、わざわざ珍しい野菜を求めて買いに来るのだから、それを「産直あぜみち」の強みにすれば良いのではと考え、料理教室の開催を始めました。「生産者の顔の見える産直」は、全国で見ることができません。しかし、我々「産直あぜみち」は、「料理人の顔が見える産直」を強みとして、料理人・消費者・生産者の3者を結びつける料理教室や収穫体験を、これからも定期的に開催していきたいです。



高橋さんが作った色鮮やかな西洋野菜たち

報告!



出向く
活動班



今回の報告者
担い手サポートセンター
出向く活動班
村上 勘爾

農業ICTへの取組みを通じて地域農業と環境を守る
〔農事組合法人大巻農産「紫波町」〕

地域農業の受け皿として組織化

大巻地区は、紫波町の中心を流れる北上川東岸に位置し、銭形平次を生みの親である野村胡堂の生地として知られ、生家近くの小高い丘に、南部曲り家をモチーフとした「野村胡堂 あらえびす記念館」があります。

当法人は昭和43年農業構造改善事業の実施以降、着実に受託事業を拡大しながら組織運営を行ってきました。この間、社会経済の動きとともに地域農業にも変化が見られ、農作業の組合への依存度が一層高まり、平成11年2月に農業生産法



あらえびす記念館から見た大巻地区

人として組織再編し、20周年を迎える法人として地域農業の受け皿になっていきます。
平成29年の作付け面積では、水稲37.6％(こがねもちを中心にひとめぼれ、銀河のしずく)、小麦23.3％、その他に作業受託として田植え(17％)、稲刈り(43％)等を実施しており売上高の3割程度となっています。(ちなみに平成30年度は銀河のしずくを大幅に拡大しています。)

大巻農産の平成30年度の主たる方針

- ・平均反収 水稲570kg以上、小麦240kg(10ア当たり)を目指します。
- ・農業・農村の多面的機能をはかる、保全・共同活動に積極的に参加します。
- ・地域農業と環境を守る組織として運営にも努めます。

農機シェアリースの取組み

農家手取り最大化に向けた取組みの一環として、生産費に対する農機具費の割合は30%程度にも達します。
また、当法人では麦刈り・稲刈りにコンバインをフル活用するため、7年間(法定耐用年数)使用できない状況にあることから、効率的な使用のため自己所有4台(うち汎用1台)にシェアリース分1台(麦10日、米14日の契約)を加えた5台で作業を実施しています。
利用した感想としては、新たな農機具保管庫が

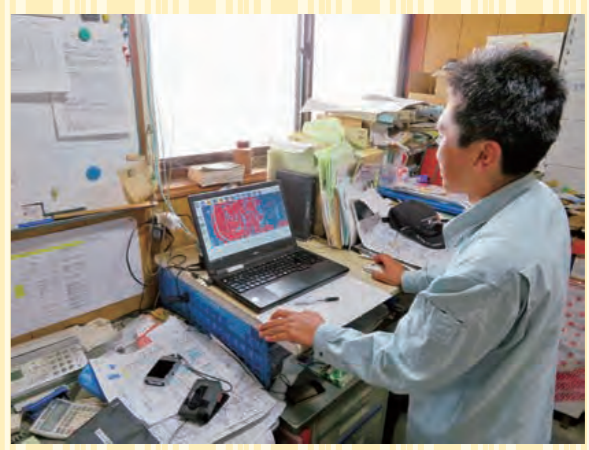
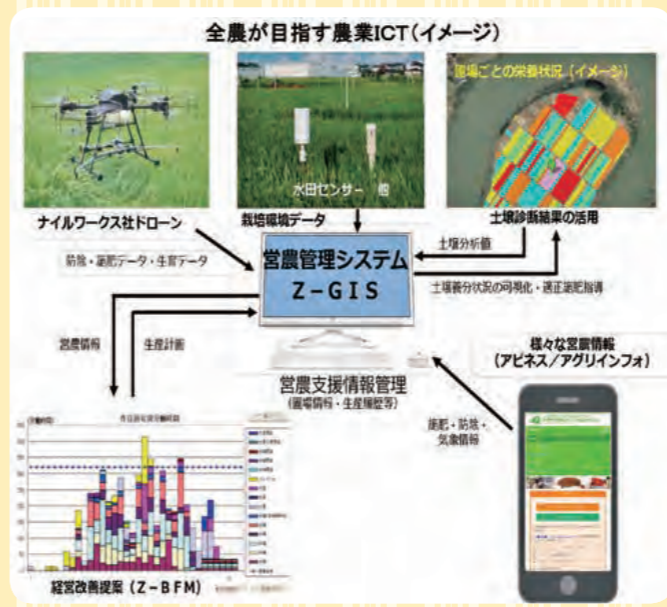
不要であること、メンテナンスがしっかりしていることから使用の際の安心感があることが挙げられました。また、契約期日より短期間で終了した場合高く感じるとのことでしたが、シェアリースコンバインをメインに使用することで、所有のコンバインを長持ちさせることができるのではとのことでした。

Z-GISの取組み

今年4月から本会ではZ-GIS(営農管理システム)・圃場管理のサービスを提供しています。
Z-GISとは、東京農業大学が開発したSIGIS(地図情報管理システム)を基本にクラウド化し、パソコン・タブレット・スマートフォンで、圃場における作業管理内容を一元的に管理できるシステムで、農協協会と本会が開発したものです。
当法人で登録している圃場は大巻地区全体の800筆あり、当初はソリマチのシステムを活用してきましたが500件という制限があり、JAいわて中央の勧めもあって平成27年度からSIGISを導入し、圃場における作業管理の見える化を実施してきました。今回のZ-GISについても、モデル経営体として活用いただくことなっています。

最後に

地域の農業を守るために、地域の受け皿として設立した法人ですが、後継者不足あるいは後継者不在という法人は当法人に限らず県内の法人でも大きな課題となっています。
平成27年に岩手県内の農業就業人口が約7万人(平成22年比で2万人減)で、70歳以上が50%、65歳以上66%、60歳以上80%、というデータがあります。
当法人においても同様の状況となっていることから、後継者確保を進めていくために、今後は周年で雇用できる



Z-GISを使用する大巻農産佐藤常務

経営の確立、そして農業ICTへの積極的な取組みについて、引き続きサポートを続けてまいります。

笑顔がはじける

純情むすめ
活動記

「IBCまつり」
岩手豚経連豚肉試食販売会」に参加して

9月15、16日に「IBCまつり」に参加してきました。来場者数は2日間で29445人。たくさんの方々が会場に足を運んで下さいました。私の担当したブースはいわて純情豚を使用した豚汁とひとめぼれを使用したおにぎりの販売そして今回のメインとも言える「いわて純情豚の試食会」を行いました。試食会は呼びかけをするとあっという間に大行列になり、試食した人達のたくさん笑顔と「美味い!」の声が続くことが出来てとても嬉しく思いました。真夏の猛暑や厳冬期の風雪など岩手の厳しい自然の中で育まれ、選ばれし生産者の慈愛に守られ育ったいわて純情豚が、これからもたくさんの方々に愛されるようにその知名度を広げていくのが私の役目だと思えました。

活動をさせて頂いて早くも2ヶ月が経ちますが、今回のイベントには生産者の方も手伝いに来て下さり豚や消費者に対する熱い想いをお聞きする機会もありました。その生産者の想いを消費者に繋ぐ「架け橋」のような存在になれるように、もっと勉強し努力していきたいと強く思った2日間でした。

私事ですが昔から母にブタマリと言われています。娘に対してなんてことを言うのだからと思っていましたが、豚は世界中で愛され幸せを運ぶ動物として知られているそうです。ことわざからなのか、容姿からなのかは



2018いわて純情むすめ
佐藤 満里愛

かりませんが、今回いわて純情豚の販売・PRをする事ができ、何かの縁を感じました。そういえば純情むすめとしての初めての業務もいわて純情豚のPRでした(笑)私も幸せと笑顔をお届けできるように頑張りたいです。純情むすめに応募したきっかけも、高校時代から岩手を離れ改めて岩手の水やお米、食べ物、美味しさ、人の温かさを感じたからです。この気持ちを忘れることなくこれからも岩手の自然の恵みに感謝し、誇りを胸にいわて純情むすめとして活動に励んでいきたいと思えます。

JA全農いわての 純情人



管理部
総務人事課
よしだ なお
吉田 奈央さん

趣味・特技

趣味: 映画鑑賞、コスメ・イヤリング収集
特技: 早寝早起き

現在の担当業務

本部長・副本部長関係庶務、各種経費・入金処理、役職連医療給付、慶弔対応、名刺管理、会内文書整理

これからどんな職員になってみたいか

総務人事課の一員として会のことをよく理解し、組合員からも職員からも頼られる職員になりたいです。

（株）純情米いわて、グッドパッケージング賞受賞!

平成30年8月30日(木)

2018日本パッケージングコンテスト 県庁訪問

（株）純情米いわては、8月30日(木)に、「2018日本パッケージングコンテスト」の最高賞であるジャパンスター賞の受賞報告として、岩手県庁を訪問しました。受賞した商品は、県オリジナル水稲品種「金色の風」「銀河のしずく」「金札米江刺産ひとめぼれ」を包装したギフト商品。金銀色や市松模様等、人々の目を引く鮮やかな配色が評価を得ました。

「2018日本パッケージングコンテスト」とは、公益社団法人日本包装技術協会主催の日本パッケージ技術の最高水準を決定するもの。材料、設計、技術、適正包装、環境対応、デザイン、輸送包装、ロジスティクス、販売促進、アイデア等あらゆる機能を査定し、年間の優秀作品を選定します。

6月14日(木)の審査会で、全419件もの多くの作品の中から、（株）純情米いわての「岩手県産米ギフト」がジャパンスター賞の一つである「公益社団法人日本包装技術協会会長賞」に入賞しました。見栄えだけでなく、輸送のための保護機能の充実や包材の適切な使用等により、包装技術的に優れているものが選出されます。8月29日(水)には、東京都文京区のホテルで表彰式が開催され、（株）純情米いわての菊池 勝代表取締役社長が出席しました。また、菊池社長は、同日(8/30)にJA岩手県五連の小澤隆一副会長を訪問し、受賞報告をしました。



商品の前に受賞を喜ぶ上田部長(中)、菊池社長(右)



小澤副会長(中央右)に受賞報告をしました

家族で酪農経営!岩手県酪農家、最優秀賞に

平成30年9月7日(金)

第36回 全農酪農経営体験発表会

全農主催「第36回全農酪農経営体験発表会」が、9月7日(金)に日経ホールにて開催されました。この経営体験発表会は、農協・県連・県本部が推薦する優秀な酪農経営体験者を選定・表彰し、その経営内容および経営技術等の成果を広く関係者に紹介して、酪農経営の安定・発展を資することを目的としています。

書類審査2回、現地審査1回を実施し、酪農経営体験発表会への出場者数名を選定。その後、大会において最終審査が行われました。厳正な審査の結果、「目標を『見える化』し、一致団結!家族酪農」を発表した岩手県岩泉町の山崎敏さん・幸子さん夫婦が最優秀賞に選ばれました。

山崎さんは、目標を「見える化」し、家族全員で作業を行うことでレベルの高い経営を実現しています。土壌改良や飼料生産基盤の拡大を通じた粗飼料自給率100%の達成、組織活動や地域のグループ活動における活躍等、総合的に安定度が高い点が評価されました。

岩手県の出場者が最優秀賞に選ばれたのは今年で6回目。北海道に次いで、受賞が多い県となっています。JA全農いわては、酪農王国岩手県として今後も酪農の発展に貢献してまいります。



最優秀賞を受賞した山崎敏さん、幸子さん夫婦(下段中央)

地域で愛される接客づくり

平成30年8月26日(日)

第42回いわてJA-SSドライブウェイサービスコンテスト

いわてJA-SSチェーンは、（株）JAグリーンサービス花巻 新田SSにて「第42回いわてJA-SSドライブウェイサービスコンテスト」を開催しました。

このコンテストは、JA-SSスタッフの接客技術とサービス向上を目的に毎年開催されており、今年で42回目。県内JA-SSよりフルサービスの部に8名、セルフサービスの部に5名が出場しました。

いわてJA-SSチェーンの菊池晋本部長は、「接客やサービスの向上はもちろん、地域の皆様に愛されるSSづくりが重要。この大会後も、更なる技術力向上を目指してほしい」と話しました。

選手として参加したスタッフ達は給油、エンジンルームの点検、お得意サービス情報の提供など実際の接客を想定して演技し、審査されました。審査の結果、フルサービスの部では(有)JAラポート興田SSの米倉康さん、セルフの部では、全農エネルギー(株)日詰パイパス店の宗形歩さんが優勝。賞状とトロフィーが授与されました。

選手らは、大会に向けて磨いてきた接客技術を日常業務で活かし、更なる技術向上を目指していきます。ぜひ、給油の際はお近くのJA-SSへお越しください。



選手一人ひとり、丁寧に考えられた接客対応が披露されました

生産者の思いが詰まった花たち

平成30年9月7日(金)、8日(土)

いわてフラワーコンテスト2018

JA全農いわて園芸部花き・資材課は、北上市にある岩手県農業研究センターにて「いわてフラワーコンテスト2018」を開催しました。今年度で37回目となるこのコンテストは、県内花き生産者の技術向上と生産意欲の高揚を図るとともに、県内で生産される花き類(切花・鉢花)を県内外に紹介することにより、花き需要の拡大をねらったものになります。

1日目に審査、2日目に一般公開および販売会を実施しました。1日目の審査では、岩手県が全国1位の生産量を誇るりんどうや、同じく主力品目の小菊など、146点が出品されました。厳正な審査の結果、JA新いわての三浦正美さんが最優秀賞(農林水産大臣賞)に選ばれました。2日目の一般公開では、137点(2等賞・3等賞・奨励賞・受賞外)が販売されました。最優秀賞・優秀賞・一等賞に選出された9点は、9月9日(日)~10日(月)の2日間にかけて、テレビ岩手のロビーで展示され、来客者の目を楽しませました。

受賞者は以下の通りです。

いわてフラワーコンテスト2018 受賞者名簿

◆最優秀賞(1点)			
J A	受賞者	出品財	特別賞
新いわて・八幡平	三浦 正美	りんどう 安代の輝き	農林水産大臣賞
◆優秀賞(4点)			
J A	受賞者	出品財	特別賞
新いわて・八幡平	八幡 博志	鉢りんどう クリスタルアシロ	農林水産省 生産局長賞
新いわて・東部	遠藤 美恵子	小菊 精やさか	農林水産省 東北農政局長賞
新いわて・八幡平	阿部 浩之	りんどう 安代の秋	岩手県知事賞
新いわて・東部	及川 慈哉	トルコギキョウ バレオマリン	岩手県知事賞



審査の様子。一つ一つ丁寧に審査していきます。

大好評!いわて純情豚お振舞い

平成30年9月15日(土)、16日(日)

IBCまつり 岩手県農協養豚経営者連絡協議会豚肉試食会

毎年開催されるIBCまつりが、盛岡産業文化センターアピオで9月15日、16日の2日間にわたり開催されました。JA全農いわてはいわて純情豚使用の豚汁や、ひとめぼれ使用のおにぎりを販売。用意していた豚汁約200食/日、おにぎり150パック/日が完売しました。また、いわて純情豚焼肉の無料試食会も実施し、消費拡大に向けたPRを行いました。試食は400名/日を対象に実施し、行列ができるほどの多くの来場者がいわて純情豚の美味しさを味わいました。

豚汁購入者・アンケート解答者を対象にした抽選会も行われ、いわて純情豚や県産豚肉加工セット等の豪華賞品をプレゼントし、会場は熱気に包まれました。

同会場では酪農に対する消費者意識の向上および牛乳・乳製品に関する知識の普及や消費拡大を図るため、ミルクフェアも行いました。JA全農いわては、これからも県産農畜産物の普及と消費拡大に向けた取り組みを行ってまいります。



いわて純情豚の美味しさを求めて長い行列ができました



塩コショウで味付けされたいわて純情豚。子供にも大人気でした



夏が終わり、早くも10月を迎えました。ひんやりとした空気は、もの悲しさを感じられて私は好きです。さて、10月は県内各地で様々なイベントや秋まつりが開催されます。「実りの秋」にふさわしい県産農畜産

物をたっぷり味わうことができます。ぜひお近くの農協まつりへ足を運んでみてください。来月号では、その様子をお伝えできたいと思います。(井戸川)

ひと粒のしずくに、物語がいっぱい。



太陽

稲の生長を促す輝く太陽



銀河

おいしいお米を育む銀河の夜空



空

澄んだ空気、爽やかに広がる青空



土

たい肥や稲わら等による土づくりの徹底



人の愛情

お米づくりに関わる人々の愛情



大地

元気な稲がすくすく育つ豊かな大地



水

清らかな水をたたくたくさんの川



豊かな稔り

黄金色に輝く稲穂の波



肥料

美味しいお米を育てる肥料設計

岩手の
本気が生んだ、
「銀河のしずく」

私には、いまの私になるまでの物語があります。
どれも、胸を張って誇れるもの。
そうして生まれたいちばん新しい私を
あなたにぜひ味わってほしい。
私は、銀河のしずくです。



JA全農いわて

いわて純情米 金色の風・ひとめぼれ・あきたこまち・どんぴしゃり・いわてっこ



私たち全農グループは、
**生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋**
になります。

- 私たちは「安心」を3つの視点で考えます。
- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
 - 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
 - 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

